

経営改善目標の達成に向けた取組状況

1 法人の概要（令和5年7月1日現在）

法人名	神奈川県道路公社				
設立年月日	昭和46年10月30日	代表者名	理事長 田中 和久		
所在地	横浜市中区山下町1番地	電話番号	045-479-7755		
基本財産等	10,781,000,000 円	県出資額	10,781,000,000 円	県出資率	100.0 %

2 法人運営における現状の課題

① 計画的な道路施設等の維持修繕への対応 橋梁・トンネル等の道路施設の老朽化が問題視され、トンネルや道路橋などを、5年に1回の頻度で点検することが義務化されたことにより、計画時点では想定していなかった新たな費用負担が生じている。 このため、定期点検による状態把握及び予防的な修繕を着実に進め、道路施設の長寿命化と修繕に係る費用の削減を図ることで、道路の安全性・信頼性を確保していく。
② 「ワンストップ型E T C」の順次導入 「ワンストップ型E T C」では、機器構成が「通常E T C」に比べ大幅に削減されるため、当公社においても導入が可能なものとなった。 現在、国が目標を掲げてキャッシュレス化を進めており、神奈川県でもキャッシュレス宣言をしていること、さらに、利用者と料金収受員との非接触により感染症対策になること、以上の理由から、ワンストップ型E T Cを公社が管理する全ての道路に順次導入していく。
③ 経営基盤の強化 今後の少子高齢化の進展やコロナ禍の影響、管理路線の減少等に伴う収入減の中においても、自然災害等の不測事態にも対応できる経営基盤の強化を図る。

3 経営改善目標の達成に向けた取組実績等

* 項目ごとに、下段の（ ）内に目標を、上段に実績を記載してください。

【県民サービスの向上】

No.	項目	単位	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	4年度自己評価	
1	安全・安心を確保する計画的な維持修繕工事の実施	百万円	448	(703)	(573)	(801)	(822)	(774)	A
	自己評価（目標未達の場合はその理由）		今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）						
	電設資材の調達難の影響等により、一部工事の翌年度への繰越しが生じたが、契約締結済みであり、令和5年度には完成予定であるため、目標は達成できた。		利用者の安全・安心を確保するため、計画的に維持修繕工事に取り組んでいく。						
	備考								

No.	項目	単位	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	4年度自己評価	
2	ワンストップ型E T Cの順次導入（必要となる費用）	百万円	266	(614)	(420)	(138)	(138)	(138)	B
	自己評価（目標未達の場合はその理由）		今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）						
	管理3路線への導入について、安全性・確実性を十分に確保し、計画期間中に着実に目標を達成するため、全体計画を見直した。		管理3路線にワンストップ型E T Cを順次導入し、利用者の利便性の向上を図る。						
	備考								

【収支健全化に向けた経営改善】

No.	項目	単位	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	4年度自己評価
1	有料道路通行料金収入	百万円	1,618 (1,634)	(1,631)	(1,629)	(1,622)	(1,616)	A
	自己評価（目標未達の場合はその理由）			今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）				
	新型コロナウイルス感染症の影響が残る中で、三浦縦貫道路及び逗葉新道が目標を上回り、概ね達成できた。			通行台数の漸減傾向に対し、地域と連携した利用促進等を進め、減少幅を少なくすることにより、目標達成に努める。				
	備考							
<内訳>								
<ul style="list-style-type: none"> 三浦縦貫道路：671百万円（前年度比 101.4%） 真鶴道路：585百万円（前年度比 115.6%） 逗葉新道：363百万円（前年度比 122.2%） 								

No.	項目	単位	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	4年度自己評価
2	駐車場料金収入	百万円	289 (284)	(292)	(296)	(296)	(296)	A
	自己評価（目標未達の場合はその理由）			今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）				
	新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和された影響もあり、大仏前駐車場における大型バスの利用や海岸地域駐車場の利用者が増加したため、目標を達成できた。			新型コロナウイルス感染症による行動制限もなくなったことから、地域と連携した利用促進等を進めることにより、目標達成に努める。				
	備考							
<参考>								
<ul style="list-style-type: none"> 大仏前駐車場：12百万円（前年度比 253.6%） 海岸地域駐車場（5箇所）：106百万円（前年度比 131.2%） 								

No.	項目	単位	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	4年度自己評価
3	年度末資金残額	百万円	885 ※ (597)	(824)	(867)	(878)	(901)	A
	自己評価（目標未達の場合はその理由）			今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）				
	前年度末の資金残額が想定より上回っていたため、4年度末資金残額が目標を上回った。 ※ 繰越工事等328百万円を除く。			収入増に向けた取組や適正な執行等により、経営の効率化を図っていく。				
	備考							

4 取組実績等についての総括（法人）

令和4年度決算では、収入は、有料道路通行料金収入が約99.0%と概ね目標を達成でき、駐車場料金収入が約102.0%と目標を達成することができた。支出は、一部工事の翌年度への繰越し等が生じたが、契約締結済みであり、令和5年度には完成予定である。

ワンストップ型ETCについては、管理3路線への導入について、安全性・確実性を十分に確保し着実に推進するため、全体計画を見直した。

年度末資金残高については、目標を達成できた。

5 取組実績等についての総括（所管課）

令和4年度は、コロナ禍の影響が残っている中であって、有料道路通行料金収入について概ね目標を達成しており、年度末資金残額についても計画を上回る状況となっている。

また、安全・安心を確保するための計画的な維持修繕工事についても、積極的な取組が図られている。

今後も、ワンストップ型ETCの導入を着実に実施するなどして、利用者ファーストの精神で、安全安心をモットーとしたサービスの充実を推進していただきたい。

6 第三セクター等改革推進部会の総合評価・今後の取組に向けた意見

評価結果	
A	概ね着実に取組が進められている。